

次期ひまわり 8号・9号の計画及びプロダクト Status of Next Generation Japanese Geostationary Meteorological Satellites Himawari-8/9 and Their Products

横田 寛伸^{1*}, 国松 洋¹
Hironobu Yokota^{1*}, Hiroshi, Kunimatsu¹

¹ 気象庁

¹Japan Meteorological Agency

気象庁は、現行の静止気象衛星ひまわり 7号の後継機として、静止地球環境観測衛星ひまわり 8号及び9号を整備中である。ひまわり 8号は 2014 年に打ち上げて 2015 年より 7号に代わって観測を開始する予定であり、9号は 2016 年に打ち上げ予定である。

ひまわり 8号及び9号に搭載されるイメージャ (AHI) は、米国 GOES-R に搭載予定の ABI とほぼ同等であり、7号に比べて以下の点で観測性能が向上する。

- ・観測チャンネルの増加 (16 チャンネル)
- ・水平解像度の倍増 (可視 0.5~1km、赤外 2km)
- ・観測所要時間の短縮 (フルディスク 10 分毎)
- ・ラピッドスキヤンの標準装備

このようなイメージャの性能向上により、気象現象の監視、台風解析、数値予報の向上及び気候変動等地球環境モニタリングへの貢献が期待できる。気象庁では AHI のデータ利用手法の開発に取り組んでおり、衛星風 (AMV) の向上、火山灰や黄砂の検出等の開発を進めている。

ひまわり 8号及び9号の概要並びに AHI の応答関数 (ARF) やシミュレーションデータについては気象庁気象衛星センターのホームページで公開している。

<http://mscweb.kishou.go.jp/himawari89/index.html>

キーワード: ひまわり 8号, 静止気象衛星, AHI

Keywords: Himawari-8, geostationary meteorological satellite, AHI